

国産材 産地紀行

14

日南町は鳥取県の南西部に位置し、中国山地のほぼ中央。西は島根県、南は岡山県、南西は広島県に接している。人口は年々減少傾向にあり、過疎化が進んでいる。町の面積は約3万4000ヘクタール、うち林野面積は約3万4000ヘクタールと町全体の約89%が森林に覆われている。人工林面積は1万8000ヘクタール、その大半が杉40年以上の成熟期を迎え、年間生長量は10万〜15万立方メートルが見込まれている。

近年は材価の下落等によって、山林所有者の施業意欲が低下し適切な保育がなされない森林が増えつつある。こうした状況から、国産材の産地として総合的な木材流通拠点「日

工・流通の連携、コスト削減を図り、品質・価格の安定した供給システムを目指す。また、木材の安定した供給は、木材市場への出荷が中心であり、素材販売量はピーク時で年間4万5000立方メートル、07年は約4万1000立方メートルだった。しかし、08年5月にオロチの団地完成後、年ごとに

生産・加工・流通の連携

地元材生産大幅増を背景に

日野川流域(鳥取)

野川の森林(もり)木 材団地」が建設され、杉LVL工場のオロチ

杉LVL工場が竣工した。生産の拠点として、地元材生産者で組織する日南町木材生産組合が、同年10月には新たな供給体制強化に向けて日南町木材生産事業協同組合が設立

丸太取扱量は増え、10年は約8万立方メートル、今年は9万立方メートルを上回ると見られている。さらに、森林・林業は新たな供給体制強化に向けて、町づくりの推進・環境保全活動や経

「前日南町長」、副理事長は狩野宏氏(前日南町副町長)で、旧日南町林業協会、日南町森林組合、日南町木質バイオマス活用協議会ほか、諸団体と連携して事業を進める。各団体に要請、提言できる事務局のような存在だ。

今年の特



杉丸太が集荷される森林組合土場(日野川の森林木材団地で)

に、林地集約